

地域医療を支え、災害時の医療活動の拠点となる新病院

(仮称) 令和宮前パークサイド病院が開設

区では、東京女子医科大学東医療センターの移転に伴い、地域の医療体制を維持するために、区内唯一の災害拠点病院となる新病院の誘致を進めてきました。今回、新病院の概要が決定したので、お知らせします。

問合せ

生活衛生課管理係 ☎内線 4 2 1

新病院の概要

既存病院の一部施設を改修して診療を開始します。

病 院 名 (仮称) 令和宮前パークサイド病院

連携大学病院 日本医科大学付属病院

運 営 事 業 者 社会医療法人社団 正志会
※近隣では「荒木記念東京リバーサイド病院(荒川区南千住8-4-4)」「花と森の東京病院(北区西ヶ原2-3-6)」「葛飾リハビリテーション病院(葛飾区亀有2-18-27)」を運営しています

病 床 数 240床

診 療 科 目 内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、救急科、産科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科等(予定)

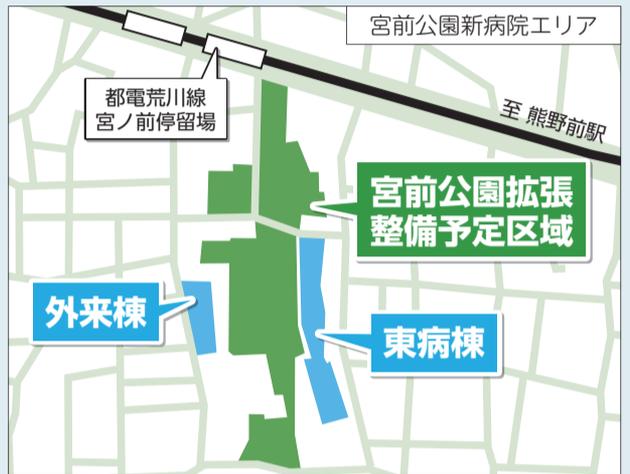
開 設 時 期 外来診療から診療を順次開始します。なお、入院病棟は、既存病院の東病棟を改修して整備します。
▶令和4年2月以降…外来診療を開始(予定)
※既存病院の外来棟を活用して診療します
▶令和5年1月以降…入院診療を開始(予定)

災害拠点病院とは

災害拠点病院は、災害時に、傷病者や医療救護班の受け入れ等の医療救護活動を行います。都によって指定されており、耐震構造であることや、水・食糧の備蓄があること、災害時の通信設備を持つこと等が求められます。

災害拠点病院には、区内6か所に開設する「緊急医療救護所」で重症と判断された傷病者を搬送します。

宮前公園の拡張整備を行います



区では、区民の憩いの場や災害時の活動拠点の場として、区立宮前公園を整備しています。

宮前公園は、大型ローラー滑り台がある隅田川沿いのエリア、尾久図書館を中心としたエリア、新病院を中心としたエリアの3つのエリアに分けて順次整備しています。

このうち、新病院を中心としたエリアには、児童向けの遊具や、健康づくりのための遊具等を設置します。また、災害時に、新病院が災害拠点病院として十分に役割を果たすことができるよう、医療救護スペースを設けるほか、停電時でも地下水を汲み上げることができる永久水利等を整備します。

問合せ 基盤整備課計画係 ☎内線 2 7 3 4

引き続き、感染予防対策をお願いします

年末年始が近づき、帰省等の外出や、会食等が増える季節になりました。また、世界的には、新たな変異株である「オミクロン株」の感染が拡大し始めており、今後も警戒が必要です。感染予防対策は、日ごろからの心がけが大切です。新型コロナウイルス感染症を再拡大させないために、引き続き、感染予防対策の徹底をお願いします。

感染予防対策の基本

- 帰宅後等、こまめに手洗いをしましょう
- 外出するときはマスクを正しく着用しましょう
- 室内で過ごすときは定期的に換気をするとともに、加湿器を使用する等、湿度を保ちましょう
- 体調が悪いと感じたときは、外出を控えましょう
- 忘年会等、会食のときは、感染予防対策を徹底している店舗を利用し、会話中はマスクを着用しましょう。また、食器等の使い回しはせず、少人数・短時間で終了させましょう

手洗いの効果的なタイミング

感染予防のために、特に効果的な手洗いのタイミングを紹介します。

- 外出から戻ったとき
- 多くの人が触れる場所を触ったとき
- せき・くしゃみをしたとき
- 鼻をかんだとき
- トイレを利用したとき
- 料理を作るとき
- 食事のとき
- 家族や動物の排泄物を取り扱ったとき
- 症状のある人の看病・世話をしたとき

